



塩田知事へ政策提言

～「公文書管理機能の充実・強化」と「産前・産後ケアの充実」～

12月17日、正副議長及び政策立案推進検討委員会の代表委員らが、塩田知事に対し「公文書管理機能の充実・強化」と「産前・産後ケアの充実」について政策提言を行いました。(関連記事2面)



塩田知事に提言書を渡す正副議長と政策立案推進検討委員会の代表メンバー

鹿児島県議会では、県議会の政策立案機能の充実・強化を図るため、平成19年度から政策立案推進検討委員会を設置し、政策提言や政策条例の検討を積極的に行っており、令和2年度までに33項目の政策提言を策定し、このうち26項目については知事等へ提言し、7項目については議員提案による政策条例制定につながっています。

今年度は、「公文書管理機能の充実・強化」と「産前・産後ケアの充実」の2つの検討項目を選定し、ワーキングチームごとに調査・検討を重ね、委員会において提言を取りまとめました。



提言内容を知事に説明する議長

県議会議員と中学生との意見交換会



意見交換会の様子

宮之城中学校3年生	県議会議員
増田 遼士さん	小幡興太郎 委員長
平 蓮純さん	安楽ひでみ 副委員長
小坂 悠貴さん	森 昭男 委員
中島 七穂さん	中村 正人 委員
地頭園優音さん	いわしげ仁子 委員
神馬場梨央さん	中村 素子 委員
	伊藤 浩樹 委員
	白石 誠 議員

9月24日、さつま町立宮之城中学校の生徒6名と県議会議員8名(広報委員会委員と薩摩郡区選出議員)との意見交換会をオンラインで開催し、中学生が日頃感じている3つの社会的な課題について意見交換しました。いただいたご意見については県政に反映されるようしっかりと議論してまいります。

中学生からいただいた意見

①子育て世代の貧困問題について

子育て世代の貧困率が高まり、朝食が食べられない子どもや夜に一人で家にいて満足に食事が取れていない子どももいると聞くので、十分な対策を講じてほしい。

②災害対策について

さつま町では今年も大雨による洪水被害があり、土砂崩れや停電、住宅被害が発生した。安心して暮らせるように災害対策を講じてほしい。

③GIGAスクール構想について

タブレット端末が配布されたが、実際に使ってみるとメリット・デメリットがあると感じる。メリット・デメリットを分析して使いやすいように改善してほしい。

中学生の感想

- 生活の中で重要な問題だと思っている事について、県でも様々な対応が取られていることを聞いて安心できた。
- 議員らが優しく丁寧に対応してくれて、とても話しやすかった。貴重な体験ができた。
- 県議会でどのようなことが議論されているのか、実際に見てみたいと思った。

中学生との意見交換の様子は、**広報テレビ番組でも紹介しました。**
インターネットで録画配信も行いますので、是非ご覧ください。

「県議会探訪記」

令和4年1月中旬
配信予定



「あなたのそばで県議会」開催のお知らせ

新型コロナウイルス感染症の感染拡大などにより開催を延期していた「あなたのそばで県議会」を開催します。

【北薩地域】

日時 令和4年1月15日(土) 13:30~15:30
会場 さつま町薩摩農村環境改善センター・中央公民館(さつま町求名12753-3)

【大島地域】

日時 令和4年2月5日(土) 13:00~15:00
会場 和泊町(防災拠点施設) やすらぎ館(和泊町和泊727)

(お問合せ先) 議会事務局 総務課
電話 099-286-5013

今後とも、県議会が県民の代表機関として、県民の皆様が多様な意見を把握し、その負託に応えられるよう努めてまいりますので、引き続き、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。



登録を喜ぶ関係者=7月



鹿児島県議会議長

田之上 耕三

議長メッセージ

本会議、委員会の会議録、本会議や予算特別委員会の様子がホームページからご覧いただけます。スマートフォン、タブレット等でもご覧いただけます。



鹿児島県議会

検索



会議録検索



議会中継

政策立案推進検討委員会の取組

提言1「公文書管理機能の充実・強化」

より透明性のある公文書管理、歴史的に貴重な公文書の適切な保存及び利用等に向けて



本県においては、現在の情報公開制度を前提とした公文書管理に加え、歴史資料として保存され利用される公文書のライフサイクル全体を視野に入れた管理や、県民が公文書等にアクセスしやすい環境の整備などが必要となっています。

このような中、県議会としても、「公文書管理機能の充実・強化」に向けた政策を調査・検討し、知事に対する提言をとりまとめました。

提言の主な内容

- 1 公文書管理法の趣旨を踏まえ、県民の意識醸成や政策形成過程の明確化など、より透明性のある公文書管理を行うため、「鹿児島県公文書の管理に関する条例（仮称）」の制定を早期に目指すこと。
- 2 将来における、歴史的に貴重な公文書（以下「歴史的公文書」という。）の適切な保存及び利用等を図るための公文書館的機能を有する体制を整備するため、当該条例の施行後、然るべき時期に庁内及び有識者を交えた検討委員会の設置等も検討すること。

【条例の制定及び検討委員会の設置等に当たっての留意点】

- ① 県所管の保存文書について「歴史的公文書」を定義付け
- ② 県民の利便性の向上の観点からの県政情報センター機能の充実
- ③ 県有施設で図書・資料として扱われている収蔵品の保管の在り方の検討
- ④ 県外の公文書館等に所蔵されている本県関係の図書・資料の情報の収集
- ⑤ 歴史的公文書の適正管理のため保管場所を確保する必要がある場合は、未利用の行政財産の活用を含めて検討
- ⑥ アーキビスト（歴史的公文書の選定基準の作成、選別、保存管理等のできる専門職）の確保や職員に対する公文書管理の意識啓発
- ⑦ 公文書等の利用促進を図るため県民がインターネット等でより検索しやすい環境の整備



関係者との意見交換会=11月



福岡共同公文書館を視察
=福岡県・11月

提言2「産前・産後ケアの充実」

県内どこに住んでいても、すべての妊産婦とその家族が安心・安全に妊娠・出産・子育てができる社会の実現を目指して



妊産婦へ心理的・身体的な支援を行う産前・産後ケアは、妊産婦の育児不安や孤立感を軽減し、さらには産後うつや児童虐待を防止する重要な取組です。

令和元年12月の母子保健法の改正により、産後ケア事業が市町村の努力義務とされ、本県においても、多くの市町村で産後ケア事業が実施されています。一方で、産科医不足や産後ケアで重要な役割を担う助産師の地域偏在など、市町村だけでは解決が難しい、様々な課題が見られます。

このような中、県議会としても、本県の「産前・産後ケアの充実」に向けた政策を調査・検討し、知事に対する提言をとりまとめました。

提言の主な内容

- 1 妊娠初期から子育て期を通じた包括的な相談支援体制の構築
 - ① 産前・産後の不安や悩み等に対応可能な24時間体制の相談環境のさらなる整備促進
 - ② 市町村や関係機関との連絡・調整を密に行える助産師などの専門職の配置
- 2 産前・産後ケアの拡充と体制整備の促進
 - ① 産前・産後ケアの重要性の周知とマタニティ教室のさらなる充実の支援
 - ② 子育て世代包括支援センターの拡充と機能強化への支援
 - ③ 医療、福祉、療育、保育、教育等の子育て支援を提供する関係機関との連携強化
 - ④ 助産所など産後ケア施設の整備促進と産後ケア事業利用料の利用者負担の軽減
- 3 産前・産後ケアに関わる専門職の人材確保と育成強化
 - ① 産後ケア事業の担い手である助産師等の人材確保
 - ② 妊娠初期から子育て期を通じて支援を行う専門職の育成強化



産後ケアハウス みつおHOUSEを視察
=霧島市・7月



関係団体との意見交換会=8月



環境厚生委員会の閉会中審査=8月



知事に要望書を渡す正副議長と各会派の代表=6月

新型コロナウイルス感染症に係る県議会の動き

6月、知事に対して、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により影響を受けている県下全域の事業者の事業継続を図るための緊急支援金の支給を要請し、早速対応していただきました。

県議会では、定例会中はもちろんのこと、閉会中においても、県の関係部局による説明会や閉会中委員会を開催し、県内の感染状況や感染防止対策・経済対策などについて議論しています。今後も引き続き迅速な対応に努め、県民の命と暮らしを守ってまいります。

議員定数等検討委員会

次期県議会議員選挙に向けて検討 3月に開催した議会運営委員会において、全会派等の10名の委員等で構成される「議員定数等検討委員会（委員長…山田国治議員）」の設置を決定し、検討を進めています。

10月には、学識経験者、自治体、産業経済、労働、女性及び青年の各分野の方々を参考人として、意見聴取を実施しました。

今後、令和2年国勢調査の結果や参考人のご意見等も踏まえながら、議員の定数、選挙区及び選挙区別の議員の数を検討し、取りまとめることとしてまいります。



各分野の参考人から意見を聴取=10月

海外経済交流促進等特別委員会

同特別委員会は、海外経済交流を促進する施策等に関する調査を行ってまいります。

10月、ジェトロ及び日本政府観光局より参考人を招致し、ASEAN地域におけるポストコロナの経済展望やポストコロナを見据えたインバウンド戦略についてオンラインによる意見聴取を行いました。



参考人から意見を聴取=10月

活動レポート!

(常任委員会行政視察)

各常任委員会は、それぞれ所管事項について行政視察を実施し、審査又は調査の参考としています。実施にあたっては、新型コロナウイルス感染症の感染防止に十分に配慮しながら行っています。

動画配信中!
広報テレビ番組「県議会レポート」
常任委員会の行政視察など、県議会の活動について紹介しています。



総務警察委員会

7月 始良・伊佐地区
11月 北薩地区

○女性活躍推進の取組について

女性が活躍できる職場環境づくりに取り組んでいる企業を訪問し、取組に至った経緯や取組内容について説明を受け、成果や課題等について意見交換を行うとともに、施設内の視察を行いました。

○防災対策について

市町村や防災関係施設を訪問し、防災対策の取組について説明を受けるとともに、施設内の視察を行いました。



防災教育に関する設備を視察
= 県防災研修センター (始良市)・7月

○原子力安全対策について

原子力発電所における安全対策の取組状況について説明を受けるとともに、施設内の視察を行いました。



原子力発電所の安全対策について調査
= 川内原子力発電所 (薩摩川内市)・11月

産業経済委員会

11月 大隅、始良・伊佐地区

○農業・水産業の振興対策について

肉用牛やお茶などスマート農業の実践や海外輸出などに取り組む生産者を視察しました。

また、かごしま豊かな海づくり協会を訪問し、ブリ、カンパチ等の種苗生産の取組などについて意見交換を行いました。



自動操舵付トラクターを視察
= 吉川農園(曾於市)・11月

○商工業の振興対策について

新型コロナウイルス感染症の社会経済への影響に対応するため、新商品開発に取り組み若潮酒造(株)を視察したほか、県工業技術センターを訪問し、技術相談や技術開発による県内企業の支援について現地調査を行いました。



本格焼酎の製造現場を視察
= 志布志市・11月

総合政策建設委員会

11月 北薩地区
12月 鹿児島地区

○地域振興対策等について

甑島において島内経済活性化や地域振興に取り組む東シナ海の小さな島ブランド(株)と空き家等を活用したまちづくりについて意見交換を行いました。

また、甑ミュージアム恐竜化石等準備室を訪問し、施設を活用した地域振興の取組等について説明を受け現地調査を行いました。



古民家をリノベーションしたパン屋「オソノベーカリー」= 薩摩川内市・11月

○新たな総合体育館の整備について

築60年が経過した県総合体育館の老朽化に伴って整備が検討されている新たな総合体育館の整備候補地を視察し、交通の利便性や周辺道路の状況、防災上の課題などについて現地調査を行いました。



新たな総合体育館の整備候補地を視察
= 鹿児島市・12月

文教観光委員会

7月 鹿児島、始良・伊佐地区
11月 鹿児島、始良・伊佐、大隅地区

○教育振興対策について

特別支援学校や道徳教育に取り組んでいる小学校を訪問し、取組内容等について説明を受けた後、授業等の視察を行いました。

また、県立博物館考古資料館、県立図書館を訪問し、各施設の今後の方針や取組等について説明を受けた後、視察を行いました。



県立図書館の貸出の状況等を視察
= 鹿児島市・7月

○観光文化スポーツ振興対策について

国際交流拠点施設、スポーツ合宿拠点施設、廃校を活用した民間の施設を訪問し、各施設の運営状況等について説明を受けた後、視察を行いました。

また、鹿児島空港ビルディング(株)を訪問し、施設を視察した後、コロナ終息後を見据えた取組や課題等について意見交換を行いました。



増改築された国際線ターミナル出発ロビーを視察 = 霧島市・11月

環境厚生委員会

7月 大隅地区
11月 北薩、南薩地区

○環境・林業対策について

鹿屋市の大隅森林組合のすぎコンテナ苗生産施設を訪問し、コンテナ苗の生産状況を視察した後、再造林における苗木生産の必要性等について意見交換を行いました。

また、枕崎市の子育てふれあいグループ自然花を訪問し、「木とふれあい環境づくり推進事業」を活用し、県産材を使用して整備されたウッドデッキの特色等について調査しました。



大隅森林組合のすぎコンテナ苗生産施設を視察 = 鹿屋市・7月

○保健・医療・福祉対策について

南大隅町の花の木ファームを訪問し、障害者支援施設における就労支援への取組状況について調査を行った後、農園を視察しました。

また、指宿市のメディポリス国際陽子線治療センターを訪問し、高精度な陽子線がん治療の概要等について説明を受けた後、施設内の視察を行いました。



がん治療に関する医療機器等を視察
= 指宿市・11月

提言・要望活動

離島振興対策都道県議会議長会

11月17、18日、離島振興対策都道県議会議長会(会長・田之上鹿児島県議会議長)は、自由民主党及び国土交通省に対し、「離島振興の推進に関する提言」等を行いました。

また、11月17日、離島振興関係4団体合同で自由民主党、国土交通省及び農林水産省等に対し、「離島振興法改正・延長実現に関する特別要望」を行いました。



自民党福田総務会長に提言書を渡す田之上議長=東京都・11月

原子力発電関係道県議会議長協議会

原子力発電に伴う諸問題について協議し、住民福祉の向上に寄与するため、国及び関係機関に対し、特別措置やその他必要と認められる要請を行っています。

11月18日、同協議会の会員である13道県を代表して、政府の原子力政策や原発安全確保策に関する要請事項について、経済産業省、原子力規制庁及び自由民主党を訪問し、要請を行いました。



細田経済産業副大臣に要請書を渡す田之上議長=東京都・11月

議員連盟の活動状況

観光産業議員連盟

11月、南九州3県(鹿児島県、熊本県、宮崎県)の観光振興議員連盟による第28回南九州観光振興会議が宮崎市で開催され、新型コロナウイルス感染症拡大で影響を受けた南九州の観光振興などについて活発な意見交換が行われました。



活発な議論が行われた南九州観光振興会議=宮崎県・11月

スポーツ振興議員連盟

12月、スポーツ振興議員連盟は、第23回ロサンゼルスオリンピックの体操競技(個人総合・つり輪)において金メダルを獲得し、現在は日本体育大学で教鞭を執られている具志堅幸司氏をお招きし、勉強会を開催しました。

当日は、「立ちちはだかる壁を越えて」指導者として、選手として」と題してご講演いただきました。



勉強会の様子=12月

離島振興議員連盟

県内の離島の特性について、調査、研究を進めるとともに、離島振興計画及び奄美群島振興開発計画等に基づく各般の施策の推進を提言することを目的として活動を行っています。

8月は、離島行政懇談会に出席し、離島が抱える課題について関係者と意見交換を行いました。11月は、知事に対し、新型コロナウイルス対策や離島航路・航空路対策等の離島振興施策の推進を要望しました。



知事への要望=11月

道路建設・整備促進議員連盟(国道226号整備促進部会)

11月、現場研修会を実施し、安全性の確保や道路の老朽化対策等について各市の要望を伺いました。同月、国土交通大臣に対して4車線化に向けた調査検討などを、また、九州地方整備局長に対して予算の重点配分などを、さらに、知事に対して各工区の早期整備などを要望しました。



交差点改良整備の要望箇所を現地調査=指宿市・11月

請願・陳情

県政について意見や要望のある方は、どなたでも県議会に請願・陳情書を提出できます。請願書の提出には議員の紹介が必要です。請願・陳情書の趣旨は、おおむね1500文字以内で記載してください。

議会開会日の2日前までに提出された請願・陳情書がその定例会の審査対象となります。お問い合わせ先) 議会事務局議事課 ☎099-286-5033

議会傍聴・庁舎見学

本会議や委員会の傍聴を希望される方は、議会庁舎受付にお申し出ください。なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、本会議の傍聴は、できるだけインターネット中継(画面上に手話通訳あり)をご利用ください。議会庁舎で傍聴される場合は、マスクの着用や手指の消毒等のご協力をお願いします。また、どなたでも議会庁舎を見学することもできます。希望される方は、お気軽にお問い合わせください。



日置市妙円寺2区いきいきサロンの皆さん

【お問い合わせ先】 議会事務局議事課 ☎099-286-5033 議会事務局総務課 ☎099-286-5013

虚礼廃止にご理解・ご協力を!

県議会議員は、公職選挙法はもとより、鹿児島県議会議員政治倫理要綱を定め、県内全域において次のことを遵守することとしております(自筆による答礼の年賀状や親族等への祝儀等例外があります)。 ○地域の行事や冠婚葬祭等に、電報等を贈らない。 ○新聞等への賛助広告や年賀状、挨拶状等を出さない。 ○中元、歳暮、餞別等の提供・收受をしない。 など

令和3年定例会を振り返る

第4回定例会

令和3年度鹿児島県一般会計補正予算可決 (主な論議) 新型コロナウイルス感染症対策、新たな総合体育館の整備、サツマイモ基腐病対策、デジタル化の推進など

第3回定例会

令和3年度鹿児島県一般会計補正予算可決 (主な論議) 知事の政治姿勢、新型コロナウイルス感染症対策、新たな総合体育館の整備、奄美大島・徳之島の世界自然遺産登録、馬毛島への自衛隊施設整備、特別支援学校の設置など

第2回定例会

令和3年度鹿児島県一般会計補正予算可決 (主な論議) 新型コロナウイルス感染症対策、奄美大島・徳之島の世界自然遺産登録、新たな総合体育館の整備、馬毛島への自衛隊施設整備など

この印刷物は、環境に優しい大豆油インキを使用しています。